ひたちおおた
てくてくウォーク51

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見どころをお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。意外と知られていない名所や素晴らしい自然を巡りながら、皆さんも歩いてみませんか。

問 文化課エコミュージアム推進室（☎72-3201）

粟原町ハイキングコース

距離：約3.7km　所要時間：約1時間30分

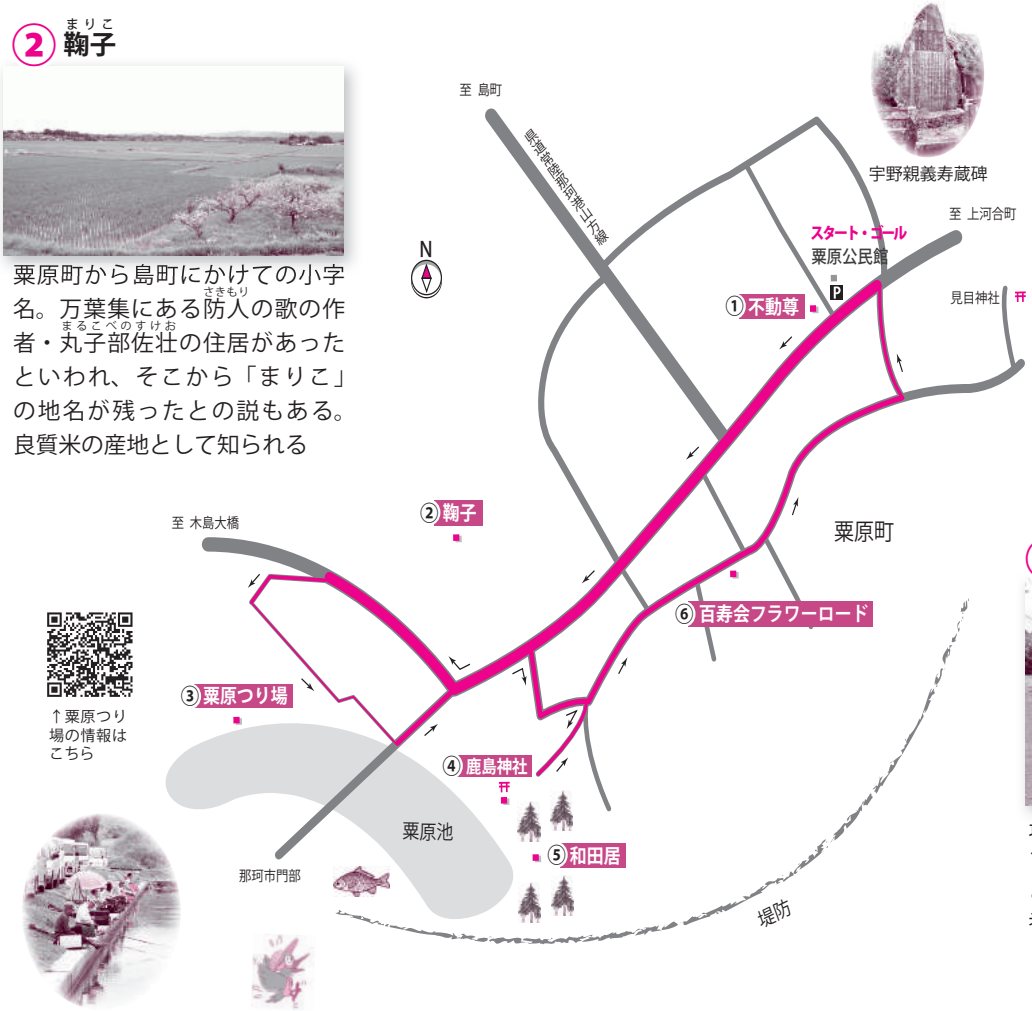
その昔、久慈川と山田川の合流する一帯は、水があふれ泡がたくさん発生して、「泡っ原」と呼ばれたことからその名が付いたといわれる粟原町。久慈川の水運で栄え、かつては船宿もあったといいます。また、おいしいお米の産地で、お酒や醤油も造られていたといわれ、まさに久慈川の水と共に歩んできた地域。大震災で大きな被害を受けた粟原つり場はきれいに整備され、平日でも多くの太公望でにぎわっています。久慈川の恩恵を感じながら、水と歴史に恵まれた粟原町をゆっくり歩いてみてください。

① 不動尊

お田植祭を毎年７月に開催。お堂の前には地蔵尊が集められている。すぐ西側には粟原出身で柔術の達人・宇野親義を称える碑が建つ。為我流柔術を極めた親義の門弟は1,400人を数えたという

② 鞠子

粟原町から島町にかけての小字名。万葉集にある防人の歌の作者・丸子部佐壮の住居があったといわれ、そこから「まりこ」の地名が残ったとの説もある。良質米の産地として知られる



↑粟原つり場の情報はこちら

⑥ 百寿会フラワーロード

地元で“前通り”と呼ばれる1㎞を超える道に、カンナなどが植えられている。町内の老人会“粟原百寿会”が管理している

③ 粟原つり場

蛇行していた久慈川の河川改修により造られた粟原池。毎年行われる釣り大会は今年で50回目を迎えた。運が良ければカワセミに出会えるかも？

④ 鹿島神社

仁寿３年（853）、宇佐八幡を勧請し創建。当初は八幡神社であったが、元禄年間に光圀公の指示で鹿島神社となったという

⑤ 和田居（平家の森）

織田信長のころ、平家の子孫の和田氏が屋敷を構えていたが、佐竹氏に滅ぼされたという